

2020 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

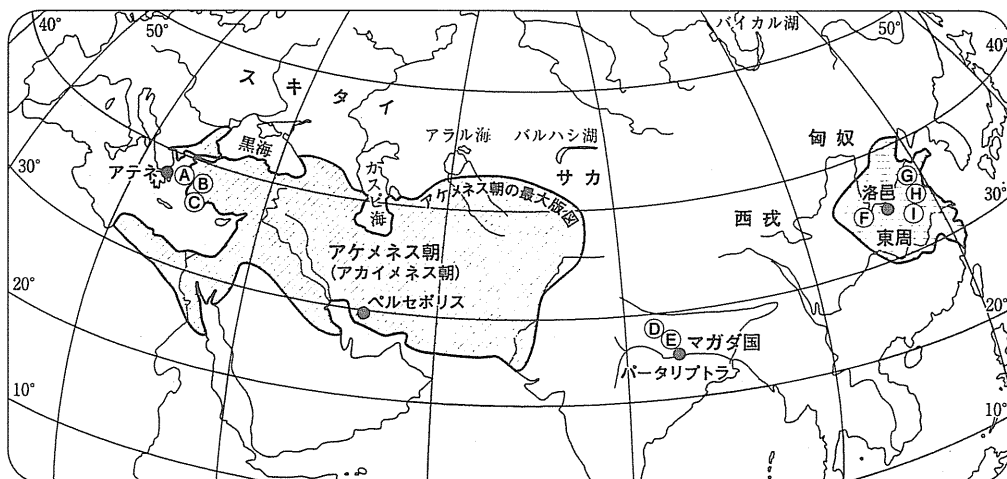
1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 下の地図1は、紀元前6世紀頃から紀元前4世紀頃にかけてのユーラシア大陸を描いている。この時期は、人類の精神史の画期、すなわち、世界史の“枢軸時代”と称されている。地図中の①～⑨は、当時期を代表する9名の思想家の活躍した地域、ないし生地とされた場所をしめす。これらの思想家は、世界のなりたちは合理的に解釈できると考えた点で共通している。地図1をもとに、下記の【設問】に答えなさい。解答は、記述・マークシートそれぞれの解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。

(20点)

地図1



【設問】

- (1) ①の人物は、ピュタゴラス（ピタゴラス）である。ピュタゴラスについての記述として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① 音律の秩序に着目し、万物の根源を数とみなした。
 - ② 万物の根源としてのアイデアの存在をとらえ、哲人の指導する理想国家を論じた。
 - ③ ギリシアの統合を説き、マケドニアとペルシアへの対抗を主張した。
 - ④ ソフィストの一人であり、アテネで活躍した弁論家だった。
 - ⑤ 医学の父と称された。

- (2) ㉔の人物は、アナトリア半島南西部のイオニア地方で活動した自然哲学者であり、世界の起源を自然法則によって説明できると考えた思想家の一人である。同じイオニアで活動して万物の根源を水としたタレスに対し、万物の象徴は火であり、そのゆえに万物は流転する、ととなえたこの自然哲学者の名前を記しなさい。
- (3) ㉕の人物は、ヘロドトスである。ヘロドトスは、実地調査にもとづいて『歴史』を書いた。ヘロドトス『歴史』の完成から数世紀後、中国大陸でも実地調査と文献にもとづく実証的な『史記』が書かれた。ヘロドトスと並称される『史記』の著者の姓名を、漢字で記しなさい。
- (4) ㉖の人物は、ガウタマ=シッダールタ（尊称は仏陀）である。ガウタマ=シッダールタが説いた仏教は、東アジア各地域に伝播した。スリランカから東南アジアへ伝わった部派仏教の自称を、漢字二字で記しなさい。
- (5) ㉗の人物は、ヴァルダマーナである。ヴァルダマーナの教えについての記述として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① 超越的な神への信仰が、教義の核をなした。
 - ② 禁欲的な戒律の順守による輪廻からの解脱を説いた。
 - ③ バラモンだけが特権をもつバラモン教を批判した。
 - ④ その教えは、ジャイナ教と呼ばれた。
 - ⑤ 不殺生と肉体的苦行による靈魂の解放を説いた。
- (6) ㉘の人物は、商鞅である。商鞅は、前4世紀の政治家であり、法家思想にもとづく政治秩序の確立を説いた。商鞅の学統を継ぎ、法家思想にもとづき商鞅と同じ国で政治改革にとりくんだ人物を、次の①～⑤の中から一人選び、その番号をマークしなさい。
- ① 公孫竜
 - ② 李斯
 - ③ 蘇秦
 - ④ 荀子
 - ⑤ 孟子

(7) ㉔の人物は、孔子である。孔子の教えは、後代の知識人の生活の規範の一つとなった。儒教を行動と思想の指針とした後代の著名な政治家・思想家をあげれば、次のようになる。

- a 韓愈
- b 陸九淵
- c 王陽明
- d 顧炎武
- e 康有為

上の a～e の政治家・思想家を生年順に並べたものとして正しいものを、次の

①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① a → b → c → d → e
- ② b → c → e → a → d
- ③ c → a → b → d → e
- ④ d → e → a → c → b
- ⑤ b → c → a → d → e

(8) ㉕の人物は、墨子である。墨子の学派である墨家は、孔子の学派である儒家の論敵であるとともに、たがいに中国古代を代表する思想家集団だった。墨家などの思想家集団を対象とした始皇帝による思想統制策を、漢字四字で記しなさい。

(9) ①の人物は、莊子である。莊子は、老子とともに道教の開祖とされた。万物はみな道を内在させているので秩序を人為的に作りあげることは不要、と説くこの老莊思想の思想内容を端的に表現する語を、漢字四字で記しなさい。

(10) 地図1のように、前6世紀頃～前4世紀頃に、中国大陸の黄河や長江の流域で主に活動した多くの思想家や学派の総称を、漢字四字で記しなさい。

- Ⅱ 次の文章（A～C）を読み、下線部(1)～(10)について下記の【設問】に答えなさい。
解答は、記述・マークシートそれぞれの解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。
(20点)

- A 古代ギリシア・ローマの社会経済において、奴隷が果たした役割は大きかったといわれている。奴隷は、「物言う道具」と称されたように、人間としての権利・自由を有さず、働く事を強⁽¹⁾いられ、また、個人の私有財産として売買や譲渡の対象ともされた。アテネでは、奴隷の数が総人口の3分の1にのぼり、彼らは、家の中の⁽²⁾仕事や農業、あるいは手工業や鉱山の採掘などに従事させられた。ローマでは、ラティフンディア経営において、膨大な数の戦争捕虜が奴隷として用いられた。強制労働をあてがわれた奴隷の扱いは過酷で、彼らはしばしば反⁽³⁾乱を起こした。
- B ヨーロッパ中世の農民の多くは、農奴と呼ばれる不自由身分で、基本的に移動や職業選択の自由を有さず、荘園領主に賦役と貢納の義務を負っていた。しかし、貨幣経済の浸透に加え、⁽⁴⁾さまざまな自然・社会変動が要因となって、荘園にもとづく⁽⁵⁾経済体制は衰退の方向に向かい、特に14～16世紀の西ヨーロッパでは、農奴が解放される動きに拍車がかかった。この状況に比べると、ヨーロッパ中部・東部に⁽⁶⁾おける農奴解放は遅れ、18世紀後半～19世紀を待たなくてはならなかった。
- C イスラーム世界においても、奴隷商人を通じて購入された人々や戦争捕虜が奴隷として多数存在した。特に、走る馬から自在に弓を射ることができたトルコ系遊牧民は戦力として優れ、奴隷軍人⁽⁷⁾としてアッバース朝などのイスラーム諸王朝に仕え、軍事・政治面で多大な影響を及ぼした。西アジアや北アフリカでは、奴隷軍人が⁽⁸⁾独立して新たにたてた王朝や、奴隷軍人が自分の仕える王朝を倒してたてた王朝⁽⁹⁾が見られる。インドでも、13世紀に、ゴール朝の奴隷出身の将軍が独立し、いわゆる⁽¹⁰⁾奴隷王朝をたてた。その後16世紀までデリー=スルタン朝と総称されるイスラーム王朝が成立し、インドにおいてイスラームが拡大した。

【設問】

- (1) 奴隷を「物言う道具」と定義した哲学者は、また、学問大系を樹立し、「万学の祖」と呼ばれたことでも知られる。この人物は誰か。
- (2) アテネの奴隷制について述べたものとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① アテネの農業奴隷は、ヘイロータイと称された。
 - ② アテネの奴隷は、戦争の際に重装歩兵部隊の主戦力となった。
 - ③ アテネでは、債務を負って財産を手放した人々が奴隷となった。
 - ④ アテネのペイストラトスは、奴隷を保護し、その支持を受けて僭主となった。
- (3) 次の史料は、紀元前 73 年から紀元前 71 年まで続いたある反乱の指導者について記したものである。この人物は誰か。
- 「かつては兵士としてローマと戦い、捕虜となって売却されて剣闘士の境遇にあったトラキア出身の男が、彼の仲間を見世物の興行ではなく自由のために危険を冒すように説得し、仲間と共に番人たちを圧倒して逃亡した。」(出題に際して、史料の訳の一部を変更している。)
- (4) 荘園領主は、国王などから役人の立ち入りや課税を免除される特権を獲得した。それを何というか。
- (5) 経済的に困窮した領主が収奪を強化しようとしたのに対し、農民たちは大規模な一揆を起こした。その事例の一つに、14 世紀、イングランドで起こった農民一揆があげられる。そこで、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、誰が領主(貴族)だったのか」と当時の社会を批判した人物は誰か。

(6) 次の(ア～ウ)の出来事を、古いものから年代順に並べるとどうなるか。①～⑥の中から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

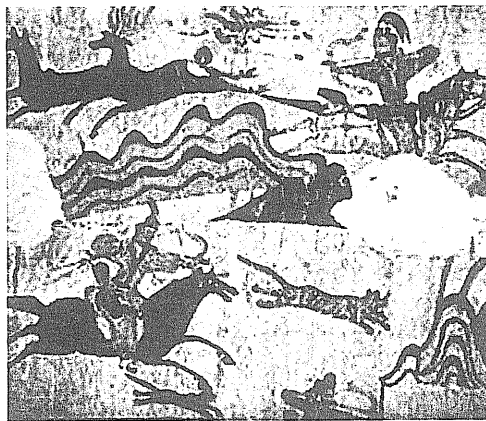
- (ア) アレクサンドル2世が農奴解放令を出し、自由主義的改革に取り組んだ。
- (イ) ヨーゼフ2世が宗教寛容令や農奴解放令を出し、内政改革をはかった。
- (ウ) シュタインやハルデンベルクらが、農奴制の廃止や教育改革など一連の行政改革を進めた。

- ① ア→イ→ウ
- ② ア→ウ→イ
- ③ イ→ア→ウ
- ④ イ→ウ→ア
- ⑤ ウ→ア→イ
- ⑥ ウ→イ→ア

- (7) マムルークとも呼ばれたイスラーム世界の奴隷軍人を表している図像はどれか。
次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。



ア



イ



ウ



エ

- (8) サーマーン朝の奴隷軍人が独立して新たにたてた王朝の名称として正しいものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① カラ=ハン朝
- ② ムラービト朝
- ③ ガズナ朝
- ④ ムワッヒド朝

- (9) そのような王朝の一つであったマムルーク朝について述べたものとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① マムルーク朝の軍勢は、1260年にイラクから進んだモンゴル軍とシリアで戦い、撃退された。
 - ② マムルーク朝は、聖地メッカとメディナを支配下において、自らの権威を高めた。
 - ③ マムルーク朝時代、イブン=シーナーが『医学典範』を記した。
 - ④ マムルーク朝時代に、カイロにアズハル=モスクが建設された。
- (10) この人物は誰か。

Ⅲ 次の文章を読み、下線部(1)～(10)について下記の【設問】に答えなさい。解答は、記述・マークシートそれぞれの解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。(20点)

イスラーム史に長年にわたって大きな影響を及ぼしたカリフとは、イスラーム教の創始者である預言者ムハンマドの後継者を意味する。632年ムハンマドが後継者を指名しないまま没した後、初代カリフが信徒たちによって選出され、「神の使徒の後継者」と名乗ったことからカリフ制は始まる。⁽¹⁾初代カリフから第4代カリフまでは正統カリフと呼ばれる。正統カリフ時代には大規模な征服活動が行われ、⁽²⁾征服地には統治⁽³⁾の拠点となる軍営都市（ミスル）が建設された。

661年、第4代カリフ・アリーが暗殺されると、彼と対立していたシリア総督ムアーウィヤがこれまでのカリフ選出の慣例をやぶってカリフを名乗り、ダマスクスを都として新しい王朝を開いた。この王朝では代々ウマイヤ家出身者がカリフ位を世襲したのでウマイヤ朝と呼ばれた。

一方、カリフ位をめぐるアリーを支持した人々は、ウマイヤ朝に対して反体制運動を展開してきたが、彼らはシーア派と呼ばれるようになった。シーア派は、アリーとその子孫がイスラームのウンマの正統な指導者（最高指導者）であると主張した。⁽⁴⁾シーア派は多くの派に分離した。

ウマイヤ朝は、その支配に不満を抱くシーア派などの人々をとりまとめたムハンマドの叔父アッバースの子孫によって倒され、アッバース朝が開かれた。アッバース朝の君主もカリフを名乗った。都としてバグダードが造営され、⁽⁵⁾交通網と通信網、官僚機構が整えられ、中央集権化が進められた。アッバース朝ではカリフに次いで官僚機構の頂点にたつ人物が次第に行政の要となった。⁽⁶⁾

カリフ制は、その後の歴史のなかで変貌を遂げていった。10世紀になるとアッバース朝カリフの政治権力は弱体化し、その主権が及ぶ範囲が縮小していった。⁽⁷⁾946年にバグダードに入城したイラン系の王朝の君主は、カリフの権威を認めたまま、カリフから大アミールの称号を受けた。北アフリカにおこったファーティマ朝の君主は、⁽⁸⁾アッバース朝の権威を認めずカリフを名乗った。また、イベリア半島の後ウマイヤ朝の君主も、⁽⁹⁾929年ファーティマ朝に対抗してカリフを名乗った。

それでもなお、アッバース朝のカリフは、スンナ派信仰の象徴として存続した。モ

ンゴル軍の侵入によりアッバース朝が滅亡すると、6世紀にわたって続いたカリフ制はいったん途絶えた。しかし、マムルーク朝の第5代スルタン⁽¹⁰⁾によってアッバース家の後裔がカイロで新カリフとして擁立され、カリフ位は継承された。オスマン朝のエジプト征服により、カリフは不在となったが、18世紀後半に、オスマン朝君主がスルタンの権威を強化するためにカリフの称号を用いるようになり、その状態が継続した。カリフ制は1924年正式に廃止された。

【設問】

- (1) この時選出された初代カリフは誰か。次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① ウスマーン ② マームーン ③ ウマル ④ アブー=バクル
- (2) 正統カリフ時代に関する説明のうち、正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① 被征服民はズインミーとされ、ジズヤが免除された。
② 太陽暦のイスラーム暦が制定された。
③ トゥール・ポワティエ間の戦いが行われた。
④ カリフにはクライシュ族の中から有力な信徒が選出された。
- (3) エジプトに建設された軍営都市を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① バスラ ② フスタート ③ カイラワーン ④ マルウ
- (4) シーア派では最高指導者のことをカリフに代わり別な言葉で称した。それは何と呼ばれたか。
- (5) アッバース朝の新都バグダードが建設された時のカリフは誰か。
- (6) この人物が就任した職位は何と呼ばれたか。
- (7) この王朝として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① トゥールーン朝 ② サファヴィー朝 ③ ブワイフ朝
④ ホラズム=シャー朝

- (8) 11世紀後半, シーア派のファーティマ朝に対抗して領域内の主要都市に学院
(マドラサ)を建設し, スンナ派の神学と法学を奨励した王朝の名を答えなさい。
- (9) この君主は誰か。
- (10) このスルタンは誰か。

Ⅳ 次の文章を読み、下線部(1)～(10)について下記の【設問】に答えなさい。解答は、記述・マークシートそれぞれの解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。(20点)

近世ヨーロッパ諸国はアメリカ大陸とインド新航路の開拓を通して、アジア各地の海域世界で発展をとげる大規模な交易ネットワークに参入した。インドへの海上ルート⁽¹⁾を開拓したポルトガルは、香辛料交易の拡大を目指してベンガル湾をこえて東進し、武力を用いてアジアの交易ネットワークの重要な結節点を占領した。さらにポルトガル⁽²⁾はクローヴやナツメグを産出するモルッカ諸島に到達し、香辛料交易のルートを確立する。16世紀中葉には中国(明朝)から与えられた居住区を拠点に、中国での取引や日本との交易にも乗り出すなど、ポルトガルはアジアにおける活発な交易活動を通してヨーロッパに多様な商品を持ち帰った。

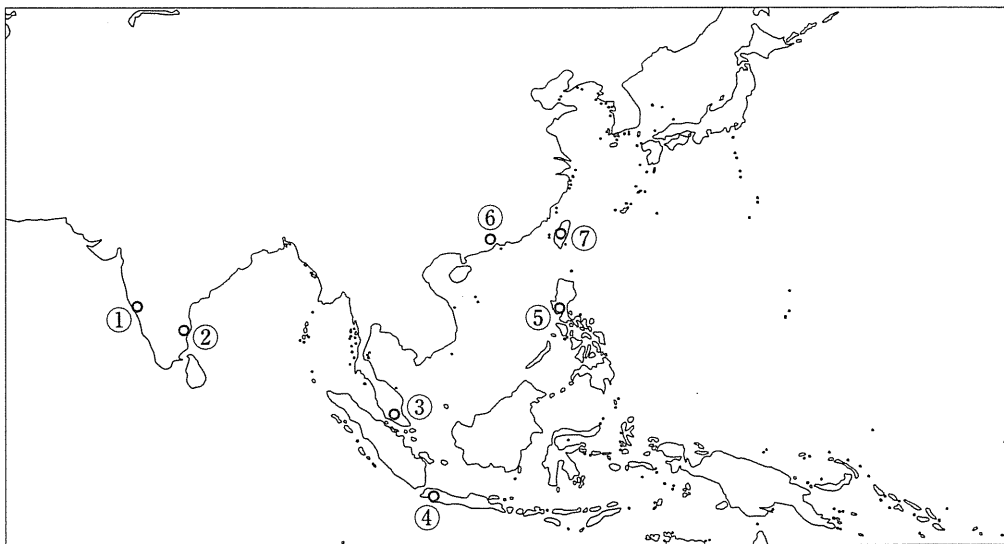
スペインは16世紀後半に対アジア交易を本格化させた。スペイン支配下のアメリカ大陸⁽⁴⁾で生産された膨大な量の銀は、ヨーロッパに大量流入することで著しい物価上昇(「価格革命」)を引き起こし、さらにヨーロッパからアジアへ東回りで拡散した。一方、スペインはガレオン船による太平洋横断ルート経由でもアジアに銀を運び込み、中国産の絹・陶磁器やインド産の綿布との交換に活用した。⁽⁶⁾ヨーロッパにはアジア産品と交換することのできる有効な国際商品が乏しく、支払い手段として大量の銀が用いられた結果、銀流通の世界的なネットワークが構築された。アジアに向かった銀の大部分は中国に流入し、現地の社会経済にも影響を及ぼしている。⁽⁷⁾

スペインとの戦争を経て独立を果たしたネーデルラント連邦共和国(以下、オランダ)⁽⁸⁾は、1602年に東インド会社を設立し、ジャワ島のバタヴィアを根拠地に香辛料交易をめぐる競争に参戦した。1620年代以降、オランダ人はモルッカ諸島からイギリス勢力を撤退させる一方、台湾にも一時的に東アジア交易の拠点を築くなど、⁽⁹⁾ポルトガルに代わって、新たな海上交易ネットワークの形成と支配を試みた。⁽¹⁰⁾ヨーロッパ諸国の中で唯一オランダは「鎖国」体制の日本との貿易を許され、商館を設けて取引を行った。17世紀後半以降には、イギリスとフランスがインドを中心にアジア進出をめぐる抗争を繰り返すことになる。

【設問】

- (1) 1488年にはバルトロメウ=ディアスがアフリカ南端の「喜望峰」に到達するが、このときに探検事業を主導していたポルトガル国王の名前を答えなさい。
- (2) 1511年にポルトガルが占領したアジアにおける国際的な交易拠点の場所として正しいものを地図2の①～⑦の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

地図2



- (3) 1557年にポルトガルが明朝から居住権を与えられ、東アジアにおける交易拠点とした場所の名称を答えなさい。
- (4) アジアへの進出でポルトガルにおくれたスペインは、西回りでアジアへ到達することを目指した。アメリカ大陸の探検事業として、1513年にパナマ地峡を越えて太平洋岸に到達したスペイン人の名前を次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アメリゴ=ヴェスプッチ
- ② バルボア
- ③ マゼラン
- ④ カブラル
- ⑤ コルテス

- (5) 1545年に現在のボリビアにあたる地域で銀山が発見され、スペインはその開発によって膨大な量の銀を生産した。この銀山の名称を答えなさい。
- (6) 16世紀後半にスペインがアジアの海域世界とアメリカ大陸を結びつける交易の中継拠点として活用した場所を地図2の①～⑦の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- (7) 16世紀の中国では銀の流入を背景に、各種の税や徭役を一括して銀で納入する制度が導入された。この制度の名称を漢字で記しなさい。
- (8) ヨーロッパにおける国際商業の中心地として栄えていたものの、オランダ独立戦争の混乱の中で衰退したフランドル地方の都市を次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
- ① ロッテルダム
 - ② ユトレヒト
 - ③ アムステルダム
 - ④ リスボン
 - ⑤ アントウェルペン
- (9) 1623年にオランダ人がイギリス商館員多数を殺害し、イギリス勢力をモルッカ諸島から駆逐するきっかけとなった出来事を何というか。
- (10) 1661年にオランダ勢力を台湾から駆逐し交易拠点を奪い、台湾を占領して清朝に抵抗した人物は誰か。漢字で記しなさい。

V 次の文章を読み、下線部(1)～(10)について下記の【設問】に答えなさい。解答は、記述・マークシートそれぞれの解答用紙の所定の欄に正しく記入しなさい。(20点)

1960年代以降、東アジアや東南アジアでは、強権的な支配によって政治・社会運動を弾圧しながら工業化を進めて経済発展を目指す体制が生まれた。⁽¹⁾韓国・フィリピン・インドネシア・マレーシア・シンガポールなどの国では、強圧的な政権運営が行⁽²⁾使された。1970年代を通じて経済成長が進展するが、東西冷戦終結前後から多くの国で民主化が進み、民主的選挙の実施による政権交代が実現するようになった。

1980年代以降、資本、もの、労働力が国境を越えて流動化するグローバル化といわれる現象が急速に進展すると、市場経済原理が世界に浸透し、世界の一体化した市場で競争が激化した。⁽³⁾⁽⁴⁾1980年代から為替の自由化が進み国際金融活動が活発化すると同時に、投機的な資金の動きによって、世界中で金融危機が起こりやすくなった。⁽⁵⁾資本や商品が国境を越えて流通し、国際金融市場が発展することによって、急速に経済成長を遂げた新興国が出現した。⁽⁶⁾

グローバル化は、世界経済を成長させると同時に、先進国・中進国と発展途上国との経済格差を拡大させることにもつながった。経済競争が激しさを増す中で、国家の枠を超える地域協力が重要になっている。ヨーロッパ連合は、いち早く単一経済市場を推進し、共通市民権の創設を目指した。⁽⁷⁾南北アメリカやアジア、アフリカ⁽⁸⁾においても地域統合あるいは経済圏をつくる協定が結ばれた。グローバル化は、さらなる人の世界的移動をともなった。ヨーロッパでは、ヨーロッパ連合の拡大⁽⁹⁾によって、域内の東欧、南欧から西欧への労働力移動が起こり、域外のアフリカなどの経済的に困窮している地域からも移民および難民が流入した。また、グローバル化の一方で、地域紛争が各地で頻発し、そのたびに多くの難民が国境を越えることを余儀なくされている。⁽¹⁰⁾

【設問】

- (1) この体制を何というか。漢字で記しなさい。
- (2) 1968年にインドネシアの大統領に就任して以来、長期政権を維持し、1998年に辞任したのは誰か。
- (3) 1980年代には、市場原理が政治にも取り入れられた。市場原理を導入し、「小さな政府」を目指す政策を行った、1979～1990年に在任したイギリスの首相は誰か。
- (4) 通商の自由化を目指して、1995年に設立された国際機関を何というか。正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① UNDP ② UNCTAD ③ GATT ④ WTO ⑤ WHO
- (5) 1997年にタイや韓国などで通貨が暴落し、広域で経済危機が発生した。一方、中国は急激な経済発展を実現させつつあった。1997年の中国に関する記述として正しいものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 江沢民が国家主席に就任した。
② 鄧小平が中国共産党大会で社会主義市場経済の導入を決定した。
③ イギリスから香港が返還された。
④ 鄧小平が「南巡講話」を発表した。
- (6) 2010年代には、経済成長を続ける5カ国がBRICSと総称された。正しい5カ国の組み合わせを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① ボリビア、ロシア、イタリア、中国、シンガポール
② ベルギー、ロシア、インドネシア、中国、スウェーデン
③ ブルガリア、ロシア、イスラエル、中国、サウジアラビア
④ ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国
- (7) 1992年にヨーロッパ連合成立のために締結され、1993年に発効した条約を何というか。
- (8) アフリカにおいて、ヨーロッパ連合をモデルにして2002年に地域統合を目指す組織が成立し、紛争地に軍隊を派遣している。この組織を何というか。

(9) 2004年以降に東欧の旧社会主義国からの加盟も認められ、2014年の時点でヨーロッパ連合の加盟国は28カ国である。2014年時点でヨーロッパ連合に加盟していないヨーロッパの国はどこか。正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① スイス ② フィンランド ③ ルーマニア ④ アイルランド
⑤ ポルトガル

(10) 旧ユーゴスラヴィア地域では、冷戦終結後、民族対立が激化し、難民を多く生み出した。旧ユーゴスラヴィア地域の中で、20世紀末に紛争が激化し、2008年に独立を宣言した地域はどこか。

